

(数 学) 科 (数 学 A) 学 習 指 導 案					
日 時	令和 7 年 6 月 12 日 (火) 第 2 限			授 業 者	青 野 洋 介
学 級	1 年 6 組	教 室	1 年 6 組 教 室	使用教科書	数学 A (数研出版)
単 元	第 1 章 場合の数と確率			内容のまとめ	場合の数と確率
単 元 の 目 標	1 順列や組合せの考え方を理解する。 2 順列や組合せの考え方を利用して、様々な場合の数を求めることができるようになる。 3 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付ける。			指 導 計 画	1 集合の要素の個数 1 時間 2 場合の数 2 時間 3 順列 2 時間 4 円順列・重複順列 2 時間 5 組合せ 4 時間 (本時はその 4 時間目) 6 事象と確率 2 時間 7 確率の基本性質 2 時間 8 独立な試行の確率 2 時間 9 反復試行の確率 1 時間 10 条件付き確率 2 時間 11 期待値 1 時間
単 元 の 評 価 規 準	知 識 ・ 技 能	順列や組合せの考え方を理解し、総数を正しく求めることができている。			
	思考・判断・表現	様々な事柄に対して、どのような場面に順列や組合せの考え方を適用するか判断し、論理的に考察する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	1 数学のよさを認識し、それを使用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。 2 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善をしたりしようとしている。			
本 時 の 指 導 過 程	主 題	様々な場合の数を求める			
	前時の課題	順列や組合せに関する課題プリントを解いておく。			
	本時の目標	順列や組合せの考え方を利用して様々な場合の数を求める。			
	評価規準	1 順列や組合せの基本的な考え方を理解している (知識 ・ 技能) 2 様々な場合について論理的に考察し、表現している。(思考 ・ 判断 ・ 表現)			
	学 習 活 動		時 間	指 導 上 の 留 意 点	評価方法、資料等
導 入 展 開 整 理	導 入	1 課題プリントを確認する。		・ 順列や組合せの基本事項を確認させる。	・ 課題プリント 【評価方法 (知 ・ 技) 】 ○ワークシートの記述内容
		2 本時の目標を確認する。		・ 応用問題に意欲的に取り組む姿勢を持たせる。	
	展 開	1 応用問題 1 を解く。		・ どのような考え方をすればよいか考えさせる。 ・ グループで考え方を共有させ、発表させる。	・ ワークシート 【評価方法 (思 ・ 判 ・ 表) 】 ○ワークシートの記述内容 ○発表、質問に対する応答など
		2 応用問題 2 を解く。		・ 具体的な場面を想像し、場合に分けて考えさせる。	
	整 理	本時のまとめをする。		・ 本時の学習内容が理解できているか、確認させる。	
備 考	国際文理科 生徒数 40 名				